

科目分類	基礎分野	学 年	1 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	生命倫理学	学 期	前 期	村瀬 ひろみ (獣医師)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	生命倫理学とは何かを学び、生命倫理学の立場から様々な医療現場における問題を考究する能力を養う。			
目 標	1. 生命倫理学とは何かを理解する。 2. 医療現場における様々な倫理的問題に気づく能力を高める。 3. 生命倫理学の立場から、医療現場の倫理的問題を考究する能力を養う。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	生命倫理学とは何か？	～その歴史と背景	講義
	2	医療とインフォームド・コンセント	～医療転換期のための倫理	
	3	コ・メディカルと医療倫理	～看護師の歴史と役割変化	
	4	生命誕生にまつわる生命倫理学	①人工妊娠中絶論争と胎児利用 優生を問う	
	5	〃	②高度生殖医療（代理母、体外受精、パーフェクトベビー）	
	6	〃	③出生前診断の倫理学	
	7	障害学－障害を学ぶ	障害から学ぶ	
	8	終末期における生命倫理学～	①脳死・臓器移植（歴史）	
	9	〃	②脳死・臓器移植（問題点、臓器売買、臓器の商品化）	
	10	〃	③ターミナルケアと告知（悪い知らせを伝える）	
	11	〃	④安楽死、諸外国との比較	
	12	高度先端医療の生命倫理学	再生医療、iPS細胞、サイボーグ、遺伝子診断、遺伝子治療	
	13	エイズの生命倫理学	～強制検査、隔離は有効か？	
	14	動物の権利	何が行われているか、何をすべきか	
	15	よりよい医療を求めて	まとめと今後の展望	
教 科 書	系統看護学講座 別巻 看護倫理 (医学書院)			
参考文献	毎回講義中に指示			
評価方法	定期試験 100%			
関連科目	看護学他（すべての科目と関連している）			
自己学習に関する指針	正確な科学的理解があってはじめて価値判断はなされうる。医学の全般的基礎知識を総動員して受講してほしい。また、自ら考えようとする姿勢が大切であり、積極的参加、発言を求める。			
その他の通知事項	なし			